

## 『企業のエンカル通信簿』第2回の調査結果発表会

### ア持続可能な開発（社会）について

消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク（SSRC）

#### 1. トピックス

##### (1) SDGs への取組みが急速に進展

昨年度に比べて、この1年間での具体化は大きく進展した。

※＜参考：SDGs 質問項目＞担当部署、全社的体制、優先的に取り組む課題の設定、目標設定、公表、事業への落とし込み、ステークホルダーとの対話、社員研修

■ほとんどの企業において積極的に取組み始めていた。

特にマダムはこの項目で最高点。取組みをしていない企業は数社。

##### ■チェックの多かった項目

「SDGs17の目標とターゲットの中で優先的に取り組む課題を設定」（7社）、「SDGsを活用して持続可能な社会づくりに貢献することをウェブサイト、報告書等で公表」（8社）、「SDGs17の目標を自社の事業、活動に関連して整理し落とし込んでいる」（7社）

##### ■チェックの少なかった項目

「全社的体制の構築」（0社）、「担当部署の明確化」（2社）、「NPO・消費者団体等ステークホルダーとの対話」（2社）

##### (2) ESD（持続可能な開発のための教育）への取組みに課題

■従業員へのESD教育はほとんどなされていない

国内実施は2社あったが、海外も含めて実施しているのは花王のみ

■NPO・NGOへのサポート等ESDの推進支援は12社中5社

■ESDの取組みの課題

ESDについては、従業員へ持続可能な開発のための教育は従業員の社会感度を高め、ひいてはそれが企業の持続可能性の取組みに反映することにつながっていくと考えられる。

##### (3) 持続可能な調達について、サプライチェーンでの浸透、情報開示が今後の課題

■多くの企業で調達方針は策定されているものの、いままさに検討されている印象があり、社会・環境課題の認識の差異が盛り込まれている内容の差異となって表れているようだ。

##### ・多かった項目は

「奴隷労働・児童労働など劣悪な環境でも労働を強制しない」（7社）、「野生生物種と生物数種の保全や生物多様性への悪影響を及ぼさない」（5社）など

##### ・少なかった項目は

「土地の改変、土壌を引き起こさないこと」（0社）、「水系の破壊、水質汚濁を引き起こさない」（1社）、「大気汚染を引き起こさない」（1社）

■CSR調達方針等やサプライヤー行動規範等の適用範囲は、一次調達先までの適用にとどまっていた。サプライチェーン全体にどのように影響を及ぼすかが課題となっている

■調達方針にもとづく購入・実績を公開しているところが少なかった。事業上の機密に属する部分もあると考えられるが、工夫次第では実績をもっと開示できると考えられる。

## 『企業のエンカル通信簿』第2回の調査結果発表会

### 2. 調査結果の概要

#### (1) 全体特徴と課題

- 取組みの進展度は業種別では「化粧品」、「コンビニ」、「宅配」の順であった。
- 特にこの分野は、方針は策定されているが、社会の動きが急速であり、事業・活動への具体的な取組み、サプライチェーンでの実践、そしてステークホルダーとの関係などに課題。

#### (2) 項目ごとの特徴

##### A. 理念とビジョン

- CSR 方針に「持続可能性」を位置づけているところが多く（7社）、中長期の経営戦略の中心コンセプトの一つとしているところは3社、企業理念や経営理念の中心コンセプトの一つとしているのは4社であった（重複あり）。

##### B. 持続可能な社会、CSR をすすめるための基準等への参加

- 多くの企業で何らかの基準等への参加が見られた。
- 企業が導入・参加しているものは4つであり、内訳は、ISO26000(11社)、GRI ガイドラン（10社）、国連グローバルコンパクト（9社）、OECD 多国籍企業ガイドラン（4社）。
- そのほかの ISO20400 やエコステージなどの導入は見られなかった。

##### C. SDG s（トピックス参照）

##### D. ESD（トピックス参照）

- ESD 研修に取組みが見られた企業は、  
【化粧品】花王、ポーラオリビス、【コンビニ】ファミリーマート
- ESD 推進支援等に見られた企業は、  
【化粧品】資生堂、花王、ポーラオリビス、マンダム、【コンビニ】ファミリーマート、

##### E. 持続可能な調達（トピックス参照）

- 多くの企業が調達方針を持っていたが、具体的な内容については企業によって大きな差がある。
- 持続可能な調達については基本的な方針の公開があるものの細目になると公開されていない企業が多かった。
- 調達方針について、サプライヤーへの要求は一次調達先にとどまっていた。
- 調達方針に基づいた購入・調達実績の公開については、ほとんど進んでいない。